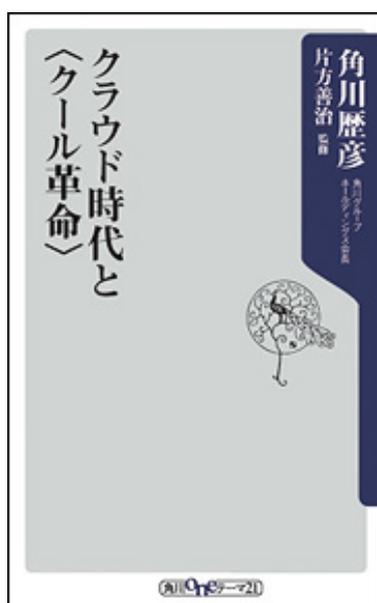


角川書店は、3月1日から、今月10日に全国書店で発売予定にしている同社社長角川歴彦氏の著書『クラウド時代と<クール革命>』（著：角川歴彦、監修：片方善治）を、期間限定でネット上で全文無料公開した。期限は、3月10日11:00時まで。Flash形式の電子書籍ビューワを使用しているため、閲覧にはWebブラウザが必須となる。

この本は、IT技術の進歩が今後のメディアや産業構造にどのような変革をもたらすかを考察したもので、まさに、無料公開するにふさわしい本だ。先に、NHK出版が『フリー<無料>からお金を生み出す新戦略』（1890円）で実施したフリーミアム（freemium）戦略がまたしても採用されたわけだ。

さっそく、アクセスして読んでみたが、出版社の経営者としては最も先駆的な角川氏が、この時代をどのように捉えているかがわかり、多くの教訓を引き出せた。ちなみに、NHK出版『フリー』は、無料公開の話題でベストセラーになったが、今回はどうだろう。もちろん、

私は買わない。それは本の内容の問題ではなく、もう紙の本は必要ないと思っているからで、今年になってからは、自分で読むために買った本は1冊もない。



「クラウド時代と＜クール革命＞」公開ページ <http://www.kadokawa.co.jp/coolkakumei>
∟